

⑤【2か年度(1年目)】移動販売車両による道路空間活用に関する実証実験(兵庫県西脇市)

1. 実験概要

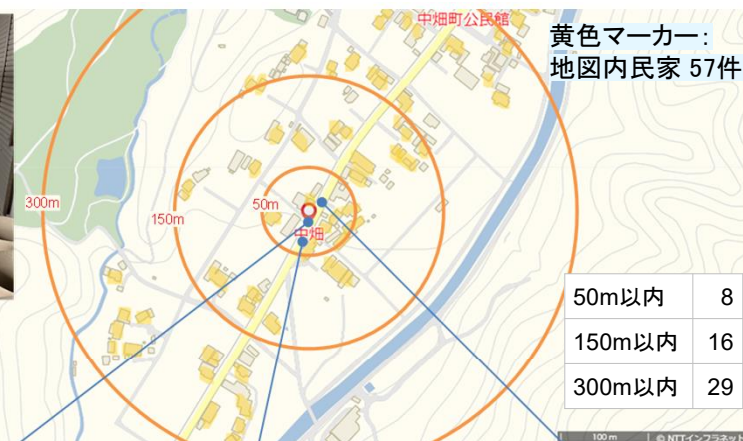
- 道路空間での移動販売の実施により、自動車を持たない高齢者でも歩いて地域内で買い物ができることで、地域住民の生活利便性の維持を図るため、道路上での移動販売実施に向けた構造上、運用上の課題を検証する。

2. 今年度の調査内容、調査結果

- ①現状の移動販売実施主体ヒアリング
⇒現状の移動販売の状況、運行に関しての条件、課題等を調査
- ②周辺住民アンケート調査
⇒日頃の買物状況、移動販売の利用状況・意向等を調査
- ③他都市の移動販売実施事例調査
⇒他都市の移動販売に関して、車両状況や運行方法・仕組み等を調査
- ④車両選定および必要空間の把握
⇒2年目の実験で用いる車両の選定、運行に際しての条件を調査
- ⑤道路上での移動販売実施に関しての構造上、運用上の課題整理
⇒本実験の実施を想定している道路上および一般的な道路上での実施を想定した場合の構造上、運用上の課題を調査



全幅1,475mm+開き部820mm
=約2.3m
(現状の車両での必要最低幅)



本線外の路肩等の幅員を調査し、
実証実験箇所を選定

3. 意見と対応

有識者等からの意見

滞在時間が短ければ交通への影響は少ないと思うが、どのくらい移動販売車両が居てほしいか等、占用する滞在時間についての調査など、道路空間の活用に関する検討に繋がるように、アンケート設計してほしい。

アンケート周知配布方法について、実際の移動販売利用者の意見を拾うため、移動販売の現場でアンケート用紙を配布する方法もある。

意見への対応

意見を踏まえ、希望滞在時間など、道路空間活用の課題抽出に繋がるようにアンケート調査票を設計

現状のアンケート周知配布方法との重複に留意し、意見の方法について実施を検討。

(次頁へ続く)

⑤【2か年度(1年目)】移動販売車両による道路空間活用に関する実証実験(兵庫県西脇市)

3. 意見と対応(続き)

有識者等からの意見	意見への対応
周辺に人口があまりいない実験候補地についても、移動販売のニーズはあり、また、今後家の前まで行かないといけない高齢者が増えることも想定されるため、今後考慮が必要。	本実験における移動販売の役割、まちづくりの視点も踏まえ、内容について検討。
道路空間の利用やルール作りが本筋だが、移動販売自体について、ビジネスとして成立される方法についても検討してほしい。	利用者ニーズ、他都市の事例を踏まえ、持続可能な運行となるような仕組みを検討。

4. 次年度の社会実験メニューとその内容、スケジュール

実験メニュー	実験内容
道路空間での移動販売実験(1回目)	現状の移動販売車両によるバス停付近の道路空間での移動販売の実施 ※交通量が少なく、移動販売する十分な空間が確保できる安全性が高い場所で実施を想定
道路空間での移動販売実験(2回目)	1回目の実験結果を踏まえ、バス停付近の道路空間での移動販売の実施 ※利用ニーズを踏まえ、他の車両での実施、および1回目よりも交通量が多い等、実施に際して条件が厳しい道路空間での実施を想定、
実験の取組実施に伴う対策と影響把握	移動販売利用者、周辺の自動車交通や通行者への影響把握、本格運用に向けた課題抽出
移動販売専用車両の自動運転化に向けた可能性検討	自動運転車両での移動販売実施時の道路構造上、運用上の課題整理

<スケジュール>

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| ➤ 令和7年4月 | 実験準備・広報 |
| ➤ 令和7年5月 | 道路空間での移動販売実験(1回目) |
| ➤ 令和7年6月～9月 | 実験結果収集、効果検証、実験(2回目)に向けた準備 |
| ➤ 令和7年10月 | 道路空間での移動販売実験(2回目) |
| ➤ 令和7年11月～12月 | 実験結果収集、効果検証、課題整理 |
| ➤ 令和7年4月～令和8年1月 | 関係機関調整(適宜実施) |

5. 評価

- ・ 順調に実験が進んでいる。
- ・ 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。